

我孫子市消費者の会

# お知らせ

2026年3月18日 第51期 No. 12-595

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

3月は気温の上昇とともに、次々に花木の花が咲き出しますね。家々の庭先から、ミモザ、コブシ、ハクモクレン、ツバキ、ボケ、ユキヤナギ・・・と、飽きることがありません。

また、3月は別れの月でもあります。旅立ちへの準備の時でもあります。旅立ちのその世界がずっと平和でありますように。戦禍のウクライナにも、ガザにも、イランにも春が訪れますように！

## 会員継続のお願い

4月からこの会は52期を迎えます。新年度を迎えるにあたって「会員を継続」していただきますようお願いいたします。

この会報に会費納入の欄がありますのでご記入の上、お近くの役員・運営委員の所に今月末までに会費1,000円を添えてお届けください。

3月中にお申し出がない場合、継続して下さるものと見なして、事務作業を進めます。

ご近所やご友人に新しく会員になってくださる方はいらっしやらないでしょうか。大歓迎です。お誘いください。

また、会員名簿に住所・電話番号を載せたくない方は、赤字でその旨をお書きください。地区にお名前だけ載せさせていただきます。お名前がないと会報が配れませんのでご理解下さい。

## 会長交代のお知らせ

長い間、皆様のご協力のもと、会長を務めさせていただいた私、和田三千代は3月末に一般会員となります。90歳を超えましたので、会長ではなく、一般会員として協力させていただき

ます。生きている間は、会員にしてくださるようお願いいたします。

4月に新しい会長が決まりましたら、お知らせいたします。(和田)

## 2026年度4月定例会

日時：4月6日(月) 13:30~15:30

会場：我孫子南近隣センター 第1会議室

\*各地区の役員さんは、集めた会費を定例会にご持参ください。総会資料を作るために必要ですので、よろしくお願ひします。

\*会計監査は4月14日(火) 10:30~市民活動ステーション大会議室で行います。関係の方は印鑑持参でお願いいたします。

## 第52期総会・定例会

日時：5月11日(月) 13:30~16:00

会場：我孫子南近隣センター 調理室

4月の「お知らせ」と一緒に総会資料を配布します。当日はそれをご持参ください。

総会に続いて5月の定例会を行います。

皆様、どうぞご参加ください。

・・・・・・切り取り・・・・・・

我孫子市消費者の会の第52期の会費1,000円を納入します。

氏名

住所

電話

(住所、電話に変更のある方、また名簿に氏名、電話を掲載したくない方は赤字でその旨をお書きください)

## ナッツアレルギーが急増

NHK の昼の視点・論点で「食物アレルギーの最前線」を見ました。命にかかわることなので一部ですが、お知らせします。お話は相模原病院臨床研究センター長海老澤元宏氏。

~~~~~

国民の3人に1人が何らかのアレルギーをもちています。スギ・ヒノキの花粉症に加え、近年、深刻さを増しているのが**食物アレルギー**です。本来無害な食物に免疫が反応して免疫グロブリンのひとつである IG 抗体が作られることで起こります。

中でも**ナッツ類アレルギー**は、12年間でおよそ10倍に増えており、重症化しやすいことから今年4月から**カシューナッツの表示義務化**が決まっています。

### ◆ ナッツアレルギーの実態

2023年 鶏卵に次いでナッツ類が2位に浮上。

(品目別ではクルミがわずか3年で4位から2位に)

2014年以降、ナッツ類が急カーブを描き伸び始め、**12年間で10倍以上に増えたこと**になります。

クルミ、カシューナッツ、ビスタチオ、アーモンド、マカダミアナッツなど7種類のナッツ類のアレルギーが揃って増えています。

幼い子どもたちの間でクルミは最も注意すべき食物アレルギーの一つです。さらに重要なのはナッツ類アレルギーは大人になっても治りにくいという点です。鶏卵や牛乳アレルギーは成長につれて自然に治るケースが多いのですが、クルミやカシューナッツは違います。幼少期に発症し、そのまま何もしなければ成人へと移行していきます。将来的には成人のナッツ類アレルギーは社会問題になります。命に係わるアナフィラキシーを起こしやすいからです。

### ◆ 気をつけること

- ① 表示の対象は容器包装された加工食品及び添加物
- ② 外食（ファストフード、レストラン）、弁当・総菜など店頭での対面販売は対象外。

### ◆ 対策

- ① 初めて食べさせる時の慎重さ

少量にし、食後の様子をよく見る。蕁麻疹、咳、顔が赤いなどの異変があれば、医者へ。

- ② アドレナリン製剤の備え（2026年2月から販売）

- ③ 社会全体での理解を

「気のせいでは？」「少しぐらいいは」などはアレルギーを持つ人を危険にさらします。 以上

## 高齢社会への対応を探る会 映画会終了

“不思議なご縁” 和田三千代

2月20日（金）に行われた映画はごらんになりましたか？

「104才、哲代さんのひとり暮らし」

映画会社との契約の関係で300名の定員で行いました。広島県尾道市に住む石井哲代さんの日常を記録したものです。

和田は受けを手伝っていましたが、映画が始まる前に会場に入りました。

ナレーションを紹介します。

「広島県尾道市に104才でひとり暮らしをしている石井哲代さんの話です。

尾道市というと山陽本線の尾道を思われるでしょうが、何回かの市町村合併で、今は福塩線の上下（じょうげ）からバスで1時間程かかるところまでが尾道市です。そこに104才でひとり暮らしをしている石井哲代さんは・・・」

(実際のナレーションと少々違うかもしれません)

私は東京で生まれましたが、戦争中、東京が危ないということで父（広島で原爆死）の実家へ昭和20年3月末に疎開しました。（甲如郡領家村亀谷）

昭和24年5月に東京に帰ってくるまで、そこで暮らしました。

何と、映画に写っているのは、私が疎開していた所、映画は父の本家（ほんけ）でした・・・！

何と不思議なご縁でしょうか???